

●議案第 11 号 白馬村嘱託職員の任用及び勤務条件等に関する条例修正案

提案理由【伊藤まゆみ議員】

貧困と格差の拡大が社会問題になっているなか、嘱託職員の勤務条件等に関する条例ができたことは、非正規で働いている人たちの待遇改善につながる。地域と住民のために努力して働

いている嘱託職員にも同一労働、同一賃金の観点から年2か月分の期末手当を支給する必要がある。

賛成討論

【加藤亮輔議員】

嘱託職員は、正規と非正規との雇用形態の違いから格差がある。格差解消のために2か月分の期末手当を支給する案に賛成。大阪方面の自治体では期末手当を支給している自治体も多数ある。手

当を支給できないという規定があるが、多くの自治体が残業手当や通勤手当を非正規の方にも払っている。解釈に幅があるので、賃金に上乗せして増額してはどうかと考える。

●議案第 16 号 議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

反対討論

【伊藤まゆみ議員】

人事院勧告に従うべき法的根拠がないこと。給与改正で正規職員と非正規職員との格差がさらに拡大し、同一労働、同一賃金と国が謳っていることに反すること。今冬の雪不足により、スキー関連事

業をはじめ多岐にわたる事業が受けた損失は深刻で、住民に及ぼす影響も甚大になると予想され、住民の理解が得られるとは思わない。

●平成 28 年度 白馬村下水道事業特別会計予算の修正案

提案理由【太田伸子議員】

都合の良い判断で行政運営が行われた結果、下水道事業の混乱を招いた轍を踏まないためにも、条例に則った予算計上を希望する。村営住宅建設に伴う経費を受益者負担金と見込んで計上しているが、東部地区の建設用地は区域外とされている。白馬村公共下水道区

域外流入分担金の徴収に関する条例が存在するので区域外分担金として支払われるべき。区域外流入分担金に568万8千円を加え668万8千円に、受益者負担金600万5千円を31万7千円に修正。予算の歳入歳出総額には変更はない。

賛成討論

【篠崎久美子議員】

原案には、区域外流入について、区域外流入分担金と、区域外流入分担金の対象区域のものを受益者負担金として徴収するという2種類の考え方の会計処理が混在している。また、区域外流入分担金100万円については、事業執行する予定はないという説明である。

負担金問題は、このように対処療法的な考え方の積み重ねが問題を複雑にし、増大化させてきた。議会では、下水道会計には正確を期すように要望してきた。現行条例の中で会計を正確に処理することが基本である。

●議案第 32 号 白馬村第 5 次総合計画の基本構想について

反対討論

【伊藤まゆみ議員】

住民アンケートの結果、住民キャンプ、キーパーソンインタビューなどで集約した意見が、どう構想に反映されるかが、審議会議事録が公表されていないため読み取れない。計画は、基本構想、基本計画、実施計画の三部門同時に作成し審議するのが常識。基本構想のみでは、今後10年間の目指すべき方向性が正確に見えない。可決すべき材料が整っていないと判断し反対。

賛成討論

【津滝俊幸議員】

基本構想は、住民アンケート、アイデアキャンプなどで住民の声を把握してきた。審議会では、現状の課題に民意を重ねて考えられてきた。「白馬の豊かさとはなにか」というキャッチフレーズは分かりにくい。白馬村の現状を反映した新しい考え方のキャッチフレーズかもしれない。今後10年間で、村や住民がなにを目指すかは、行政の丁寧な説明を希望する。議決して遅れている基本計画を早急に構築すべき。

●陳情第 4 号 「平和安全保障関連法案」の廃止を求める意見書の提出についての陳情

賛成討論

【加藤亮輔議員】

村議会でも衆参両院に慎重審議の意見書を提出。安倍内閣はこれらを見做し、国会で多数をもって強行採決をした。3月末から戦争法が施行、自衛隊はPKOの駆けつけ警備など安全警備の業務が新任務に与えられ、自衛隊員が武器をもって戦闘行為につく可能性も

大きい。白馬村からも自衛隊に勤務している若者がいる。彼らが命令によって武器をもつ可能性もあり、そういうことが起こらないように廃止を求める。